

令和5年度 事業報告書

公益財団法人 岡山県身体障害者福祉連合会

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

[総括]

障害のある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し、共に暮らし、支えあう「共生社会」の実現を目指し、国では「障害者差別解消法」や「障害者総合支援法」が改正され、本年4月施行に向けた準備が着実に進められるなど、障害のある人の権利擁護や支援の強化・充実に向けた環境整備が図られた。また、岡山県においても新たな課題やニーズを踏まえながら実効性のある施策を推進するため、「障害者計画」と「障害福祉計画」及び「障害児福祉計画」を一体的なものとして「第5期岡山県障害者計画(第7期岡山県障害福祉計画・第3期岡山県障害児福祉計画)」が策定されたところである。

こうした中、私たちは、障害のある人の高齢化、障害の重度化など、環境や社会状況の変化も踏まえ、行政と協働して、共に共生社会の実現に努めていく責務がある。

当連合会では、日本身体障害者団体連合会をはじめとする関係団体等と連携し、障害者施策等に係る情報収集に努め、関係機関への提言・要望活動を実施した。

また、身体障害者相談員活動の活性化と連合会組織等の充実強化に努め、関係機関・団体との連携により各種社会参加促進事業を総合的かつ効果的に実施するとともに、公益財団法人として関係法令や定款等を遵守した適正な法人運営に努めた。

[重点項目]

1 障害者施策に対する対応

日本身体障害者団体連合会や中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会などと連携して、障害者の権利擁護、就労支援などの情報を収集し、必要な提案活動を行った。

<活動状況>

- ・岡山県障害福祉課との意見交換(7月)
- ・日身連(中・四国ブロック連絡協議会経由)を通じた国への提案・要望活動(8月)
- ・自由民主党岡山県議団との懇談(陳情)(11月)

2 身体障害者相談員活動の充実と活性化

研修等を通じてピアカウンセリング手法や手話言語条例、障害者虐待の防止等について周知を図るなど、相談員の資質向上及びネットワークづくりに努めた。

- ・岡山県身体障害者相談員協議会役員会(10月)
- ・岡山県身体障害者相談員研修会(11月)

3 連合会並びに会員団体組織の充実強化と活動の活性化

賛助会員募集への積極的な呼び掛けや女性部及び青壮年部活動の充実強化を通じて連合会組織の充実強化に努めるとともに、会員団体組織の活動の活性化を図った。

- ・女性部活動(総会 7月、研修会 7月・11月)
- ・青壮年部活動(総会 7月、研修旅行 10月、交歓会 3月)

4 障害者の社会参加の促進

障害者の一層の自立と社会参加の促進を図ることができるよう、各種社会参加促進施策を関係団体との連携により総合的かつ効果的に実施した。

- ・岡山県地域生活支援社会参加促進事業(14事業)

5 障害者差別解消の推進

改正障害者差別解消法の円滑な施行に向けて、関係団体等と連携を図りながら必要な提案等を行うとともに、岡山県障害者社会参加推進協議会等で周知を図った。

6 感染症への対応と災害時における支援体制の充実

災害時の要配慮者に係る個別支援計画の早急な作成や福祉避難所の充実、障害特性に対応した情報伝達の確保など、防災減災対策の充実に向け、関係団体等との連携を図りながら必要な提案等を行った。(新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類感染症に移行)

7 適正な法人運営

事業の効率的な執行を図るとともに、コンプライアンス意識の徹底を図り、関係法令や公益基準、定款等を遵守した適正な法人運営に努めた。

【事業実施状況】

1 障害者の日常生活、職業等に関する相談支援事業(公1事業)

(1) 障害者総合相談事業

身体、知的、精神の障害者本人や家族等の関係者を対象に、暮らしや人権に関わる生活全般について常設の相談窓口を設置して相談員が相談に応じた。

- ・一般相談:月～金曜日、9:30～16:30 相談件数 462件
- ・専門相談(弁護士相談):予約制 相談件数 1件

(2) 在宅重度身体障害者激励事業

在宅の重度身体障害者の福祉向上を図るため、各市町村の障害者団体の役員等が重度障害者の自宅を訪問して慰問品を直接届け激励するとともに、生活全般の相談に応じた。

- ・NHK歳末たすけあい義援金による慰問品(タオルケット) 212名に配布 総額100万円

(3) 駐車禁止除外指定車標章の申請・交付と制度の啓発

下肢、体幹、内部等の障害により歩行困難な障害者が乗車又は運転する車に対して、駐車禁止区域内でも駐車が認められる駐車禁止除外指定車標章の申請受付業務を行った。

- ・新規 7件、更新 62件 計 69件

(4) JR ジャング倶楽部の加入申請受付と制度の啓発

障害者がJRの特急券、急行券等の割引を受けるために必要なJRジャング倶楽部特別会員制度のPRや加入申込受付業務を行った。

- ・新規 21件、更新 138件 計159件

(5) 身体障害者相談員研修事業

身体障害者相談員の資質向上を通じて相談活動の促進及び相談援護の充実を図るため、相談員を対象に研修を実施した。

- ・岡山県身体障害者相談員協議会役員会(10月23日、岡山市)
- ・第24回中・四国身体障害者相談員研修会(10月5日、松山市、参加者 8名)
「盲ろう者の状況」「取組事例発表」ほか
- ・岡山県身体障害者相談員研修会(11月7日、岡山市、参加者 114名)

「地域生活支援事業・手話言語条例の概要」

「障害者虐待」「相談事例発表」ほか

2 障害者の生活訓練、指導者養成等社会参加促進事業(公2事業)

(1) 身体障害者補助犬育成事業

障害者の社会参加を促進するため、身体障害者補助犬(盲導犬)を育成し、真庭市在住の視覚障害者に対し貸与した。

・補助犬貸与 1件 (H10年度からの累計 29件)

(2) オストメイト社会適応訓練事業

スマ用装具の装着者に対して、装具の使用等家庭や職場生活に必要な指導訓練を行うとともに、社会生活に必要な基本的な事項について相談に応じた。

日本オストミー協会岡山県支部へ再委託

・参加延べ人員 188名 開催回数 32回

(3) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業

疾病等により咽喉を摘出し、音声機能を喪失した障害者に対して発声訓練を行い、社会参加の促進を図った。

新声会へ再委託

・発声訓練 参加延べ人員 518名

・一斉指導及び個別指導 33回 移動教室2回

・指導者養成研修(広島市)参加者5名

(4) 盲ろう者向け通訳・介助員養成・派遣事業

盲ろう者のコミュニケーションに必要な様々な伝達手段及び外出支援技能を修得した盲ろう者通訳・介助員を養成するとともに、盲ろう者からの要請に応じて派遣した。

岡山盲ろう者友の会へ再委託

・養成講座 8日間 受講者数11名

・現任研修会 参加延べ人員 99名 開催回数8回

・派遣事業 派遣対象登録者 13名 利用者 8名 延べ派遣件数 406件

(5) 盲ろう者向け生活訓練等促進事業

中途盲ろう者に対して自立した日常生活を送ることができるよう、様々なコミュニケーションに関する訓練や日常生活に関する訓練、その他必要な相談、指導を行った。

岡山盲ろう者友の会へ再委託

・実施回数 23回 49.5時間

・受講者数 5名

(6) パソコンボランティア派遣事業

障害者のパソコン機器等の使用を支援するパソコンボランティアを、障害者からの要請に応じて派遣した。

・派遣数 3名 延べ 3回

(7) 障害者IT利用普及促進事業

障害者の在宅就労やIT利用等の促進を図る総合的なサービス拠点として障害者ITサポートセンターを設置し、IT機器展示コーナーを運営するとともに、IT機器の利用相談等に応じた。

・展示・体験コーナー利用者数 749名

(内訳) 来所見学等 720名

電話・メール 29名

(8) パソコン教室開催事業

身体障害者を対象にパソコン教室を開催し、パソコン利用の促進を図った。

①パソコン教室(基礎Ⅱ)

・肢体不自由者対象パソコン教室

開催回数 延べ 5回 受講者数15名(延べ19名)

(9) 重度障害者在宅就労促進事業(バーチャル工房おかやま)

在宅重度障害者の情報機器やインターネットを活用した就労指導を行うとともに、企業・団体等からの業務受注、工房利用者への配分、成果品の検収等を行った。

・登録者 12名

・受注件数 6件(官公庁 4件、団体 2件)

・業務内容 サイト更新、テープ起こし 等

3 障害者の福祉増進及び啓発、広報事業(公3事業)

(1) 障害者社会参加推進センターの設置運営

障害者社会参加促進事業の体系的・効果的な実施を図るため、障害者社会参加推進センターを設置し、社会参加推進事業に係る連絡・調整や必要な情報の収集等を行った。

・岡山県障害者社会参加推進協議会(3月13日、岡山市)

(2) 団体活動育成支援等による障害者福祉増進事業

①地域や障害種別の障害者団体の活動の育成、支援

- ・会員団体の総会・大会等への出席等（延べ11回）

②女性部及び青壮年部活動の支援

- ・女性部 総会(7月5日 岡山市)、研修会(7月5日 岡山市、11月13日 岡山市)
- ・青壮年部 総会(7月23日 倉敷市)、研修旅行(10月22日 広島県)、交歓会(3月10日 倉敷市)

③各種行事の開催及び参加

- ・吉備高原車いすふれあいロードレース開会式(10月7日、吉備中央町)
- ・岡山県総合社会福祉大会(10月13日、岡山市)
- ・全国障害者スポーツ大会 岡山県選手団結団壮行式(10月26日、岡山市)
- ・第23回岡山県障害者スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会(10月28日～30日、鹿児島県)
- ・岡山県身体障害者スポーツ大会(グラウンドゴルフ大会) (11月24日、岡山市)

④関係団体役員や審議会等委員就任による情報収集と意見発信

ア 国及び県レベルの会議等への参画

- ・岡山県社会福祉審議会(5月29日 岡山市)
- ・岡山県障害者施策推進審議会・岡山県自立支援協議会・岡山県障害者差別解消支援地域協議会(7月21日、書面、10月30日、岡山市、2月6日、岡山市)
- ・福祉用具展示・体験コーナー運営委員会(7月21日、岡山市)
- ・岡山県障害福祉課との意見交換(7月28日 岡山市)
- ・中国ブロック視覚障害者福祉大会(9月10日、岡山市)
- ・岡山県障害者スポーツ協会専門委員会(11月15日、岡山市)
- ・自由民主党岡山県議団との懇談(陳情)(11月16日、岡山市)
- ・岡山県手をつなぐ育成会高梁・新見大会(11月26日、高梁市)
- ・岡山県バリアフリー等地域連絡会議(1月25日 岡山市)
- ・岡山県防災会議(2月13日、岡山市)
- ・岡山県障害者スポーツ協会理事会(3月15日、岡山市)

イ 日本身体障害者団体連合会との連携

- ・日身連理事会(6月1日 オンライン)
- ・日身連評議員会(6月28日、11月13日、3月27日 オンライン)

・第68回日本身体障害者福祉大会(わかやま大会)(6月16日、YouTube 録画配信)

ウ 中・四国ブロック各身体障害者団体との連携

- ・中・四国身体障害者相談員連絡協議会(6月 書面)
- ・中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会〈要望事項協議〉(8月 書面)
- ・中・四国身体障害者相談員研修会(10月5日 松山市)
- ・中・四国ブロック身体障害者団体事務局長会議〈課題協議〉(12月13日 鳥取市)
- ・中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会〈事業計画協議〉(1月18日 徳島市)

エ 他団体等との連携

- ・岡山県社会福祉協議会理事会
(6月13日・28日オンライン、9月15日岡山市、3月12日オンライン)
- ・共同募金オープニングセレモニー(10月1日、岡山市)
- ・障害者ワークフェアインおかやま(10月31日、岡山市)
- ・NHK歳末たすけあい配分交付式(12月18日、岡山市)

(3)機関紙「はばたき」の発行等啓発・広報事業

① 機関紙「はばたき」の発行

- ・機関紙「はばたき」 毎月900部発行
- ・国・県の障害者施策の動向、当会の事業等について情報提供

② ホームページによる情報提供

- ・当会の組織、事業等に関する情報の発信
- ・行政や関係団体とのリンクによる情報提供

4 法人運営

(1)連合会運営のための会議開催

- ・監事監査(5月22日)
- ・正・副会長会議(5月26日、3月1日)
- ・理事会(5月26日、6月16日、3月1日)
- ・評議員会(6月16日、3月22日)

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	23,768,615	25,108,093	△1,339,478
未収金	830,074	1,962,322	△1,132,248
流動資産合計	24,598,689	27,070,415	△2,471,726
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産特定預金	3,823,285	3,823,285	0
基本財産合計	3,823,285	3,823,285	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,892,500	7,496,500	396,000
中四国大会準備預金	3,584,455	3,584,384	71
特定資産合計	11,476,955	11,080,884	396,071
(3) その他固定資産			
什器備品	178,361	236,271	△57,910
その他固定資産合計	178,361	236,271	△57,910
固定資産合計	15,478,601	15,140,440	338,161
資産の部合計	40,077,290	42,210,855	△2,133,565
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,882,439	4,667,636	△2,785,197
前受金	172,000	157,000	15,000
預り金	57,728	58,607	△879
流動負債合計	2,112,167	4,883,243	△2,771,076
2 固定負債			
退職給付引当金	7,892,500	7,496,500	396,000
固定負債合計	7,892,500	7,496,500	396,000
負債の部合計	10,004,667	12,379,743	△2,375,076
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	3,800,000	3,800,000	0
指定正味財産合計	3,800,000	3,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,800,000)	(3,800,000)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(23,285)	(23,285)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,584,455)	(3,584,384)	(71)
正味財産の部合計	30,072,623	29,831,112	241,511
負債及び正味財産合計	40,077,290	42,210,855	△2,133,565

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,211	3,211	0
特定資産運用益			
特定資産受取利息	202	848	△646
受取会費			
正会員受取会費	1,067,000	1,067,000	0
事業収益			
受託事業収益	26,538,000	22,851,730	3,686,270
自主事業収益	1,222,903	1,136,111	86,792
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	440,000	440,000	0
受取地方公共団体助成金	300,000	300,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	472,393	621,959	△149,566
募金収益	1,500,000	1,500,000	0
賛助会費	216,000	216,000	0
雑収益			
受取利息	4,014	4,030	△16
雑収益	7,700	63,850	△56,150
経常収益計	31,771,423	28,204,739	3,566,684
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	11,347,853	11,064,513	283,340
臨時雇賃金	2,520,000	2,520,000	0
退職給付費用	382,888	372,760	10,128
法定福利費	1,847,737	1,791,557	56,180
工賃	218,439	109,435	109,004
旅費交通費	441,295	360,790	80,505
通信運搬費	389,432	445,667	△56,235
減価償却費	45,895	138,112	△92,217
消耗品費	1,817,713	1,807,704	10,009
印刷製本費	555,928	527,775	28,153
研修費	6,000	6,000	0
賃借料	789,309	811,205	△21,896
諸謝金	411,203	501,246	△90,043
会議費	11,520	22,676	△11,156
支払負担金	88,000	88,000	0
支払助成金	460,000	460,000	0
委託費	9,129,000	5,818,000	3,311,000
支払手数料	46,646	47,270	△624
雑費	4,464	3,844	620
管理費			
給料手当	387,047	326,867	60,180
退職給付費用	13,112	15,240	△2,128
法定福利費	59,835	60,715	△880
福利厚生費	47,111	54,801	△7,690
会議費	10,272	4,042	6,230
旅費交通費	235,000	202,700	32,300
通信運搬費	64,022	29,512	34,510
減価償却費	12,015	12,015	0

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗品費	6,622	16,602	△9,980
印刷製本費	17,703	20,000	△2,297
賃借料	22,851	20,221	2,630
諸謝金	6,000	9,100	△3,100
支払負担金	130,000	130,000	0
支払手数料	4,000	3,300	700
雑費	1,000	2,300	△1,300
経常費用計	31,529,912	27,803,969	3,725,943
評価損益等調整前当期経常増減額	241,511	400,770	△159,259
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	241,511	400,770	△159,259
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	241,511	400,770	△159,259
当期一般正味財産増減額	241,511	400,770	△159,259
一般正味財産期首残高	26,031,112	25,630,342	400,770
一般正味財産期末残高	26,272,623	26,031,112	241,511
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,800,000	3,800,000	0
指定正味財産期末残高	3,800,000	3,800,000	0
III 正味財産期末残高	30,072,623	29,831,112	241,511